

今月のこの1冊

カメラが撮らえた神奈川県昭和

神奈川県を七つの地域にわけて、各地の昭和の風景が紹介されている。平成も四半世紀になる今、開成町の様子も刻々と変わってきている。

本書の第6章 足柄上地区に載る開成町の風景を思い出す人はどのくらいいるだろう。開成小学校の木造の旧校舎。低い石垣に植栽された木々。もう一枚に写る文命中学校女生徒の白いブラウスにリボン、頭には白いヘルメットの自転車通学の姿はただただ懐かしと思われる。



新着本案内（主なもの）

★ 一 般 書 ★

- ・陽子の一日 南木佳士
- ・沈黙の町で 奥田英朗
- ・ティンホイッスル 中江有里
- ・ローカル線で行こう！ 真保裕一
- ・むつかしきこと承り候 岩井三四二
- ・ハピネス 桐野夏生
- ・狭小邸宅 新庄耕

★ 児 童 書 ★

- ・おれはワニだぜ 渡辺有一
- ・ちいさいわたし おかだちあき
- ・ペーパータウン ジョン・グリーン
- ・狍犬の佐助 伊藤遊
- ・わからん薬学事始1 まはら三桃

みんな集まれ！子どもの広場・おはなし会

◇子どもの広場

内 容 「はばたくカモメ」をつくります
日 時 4月27日(土)10:00～
持ち物 スティックのり カラーペン はさみ
対 象 5歳(保護者同伴)～
場 所 町民センター2階 中会議室 A
申し込みは直接図書室へ または ☎82-5221

◇おはなし会（第2土曜日、第4水曜日）

日 時 4月13日(土)10:30～
4月24日(水)15:00～
場 所 町民センター3階図書室
申し込みはいりません

毎月1日は、【開成ファミリー読書デー】
家族みんなで本を読もう！

● 家庭・地域・学校などでの読書活動を推進するため、開成町では毎月1日を「開成ファミリー読書デー」にし、読書活動を推進します。

*文 芸

開成俳句会

春雷か耳に届かぬ雲の中
春雷や岬に疾き船の影

俳句

慎ましくこの町に住み風光る
小流れに芹摘む足を取られたる
春雷や寺の跡継ぎ父越えて
明けやらむ町を起せり春の雷
みちのくの活気戻りし春便り
柔らかな匂い楽しむ春の宵
古民家の人に酔いたる内裏難

三月吟

柑園は切株あまた土筆摘む
高齡化か農業はなれか、蜜柑の木は伐採され、周辺はつくしが密集している。つくしを摘む作者の複雑な心境が充分伝わってくる。現代の世相を物語る鮮烈な秀句です。

ともしび短歌会

澄む空に向き角ぐむ白木蓮
燦銀なる風格を見す
清澄な空に向かい、白木蓮の芽は、力強く角のように出初めている。その様は、あたかも陽に映える燦銀のような風格をもっている、と捉えた。作者の繊細な感覚による描写が生み出した秀逸な一首。

短歌

孫の部屋開けるたびごとに「どきつとす」
研究資料の白き骸骨に
孫の部屋には必ずあると分かっていたながら、開けては驚かされる研究用の白き骸骨。それは、等身大でいつも否応なく目に入る。「どきつとす」により、作者の驚愕の心情が即刻伝わってくる歌

二月詠

松井選手引退のニュース駆けめぐる
まこと「ますらお」惜しまれて去りぬ
日米野球界で活躍した松井秀喜選手。二十一年間、真摯且つチームの勝利のために「命懸けのプレー」を続け、惜しまれながら引退した。その雄姿は正に「ますらお」といえ、賛辞を呈すると詠んだ。

新井 たか志 選

下澤 操子

波多野すみ枝

遠藤美津子

遠藤マツ江

奥津ちわき

遠藤まつ子

瀬戸 悦子

濱本 主雄

有賀 孝子

新井たか志



建設イメージ

に、厳しい財政状況や法規制等の問題も考慮しながら、平成24年2月に現在の斎場敷地を建設候補地として選定しました。整備方法を検討してきた結果、現在の斎場敷地内において、

～平成30年度の供用開始をめざします～

小田原市斎場を 現在の敷地内で 建て替え

☎ 小田原市斎場事務広域化協議会事務局(小田原市環境政策課内)
☎33-1422

検討した経過

現在の斎場は、周辺市町の住民にも広く利用されています。

現在の小田原市の斎場は、昭和46年に建設され、翌年の47年から供用が開始されました。その後、41年が経過し、老朽化が著しくなっています。また、今後の増加が見込まれる火葬需要に対して施設の対応ができなくなるなどの課題を抱えています。

今後について

斎場を稼働させながら、小田原市が事業主体となり、小田原市斎場として建て替えることが決定しました。

平成30年度の供用開始を目指して、平成25年度から斎場建替えに必要な各種調査等委託業務を実施していきます。また、今後の事業は、2市5町で連携して進めていきます。施設の規模は、人口推計や火葬需要などを検証し、決定していくこととなりますが、約9千135㎡の敷地に火葬炉を現在の6基から10基に増やし、諸室として告別室、集収骨室、待合室等の充実化、さらに80台以上の十分な台数の駐車場の確保などを想定しています。

がいせい 安全・安心だより



春の全国交通安全運動

～4月10日(水)は

「交通事故死ゼロを目指す日」です～

4月6日(土)から15日(月)までの10日間、「春の全国交通安全運動」が展開されます。全国で過去の記録に残る昭和43年以降、交通事故死がゼロであった日はありません。

4月10日(水)は交通事故死ゼロをめざし、交通ルールの再確認をしましょう。

開成町では4月9日(火)を交通安全重点日とし、登校する児童の見守り活動と町内巡視を実施します。

■子どもと高齢者の交通事故防止

「通園・通学する子どもたちを交通事故から守ろう」

家庭や地域のおとなが手本となって、基本的なルールやマナーを教え交通安全意識を高めていきましょう。

「高齢者が安心して外出できる安全な交通社会を作ろう」

交通事故死者数全数のうち、高齢者が約半数を占めています。ドライバーのみなさんは、思いやりのある安全運転を心がけましょう。

■保護者の方へ

「お子さんと一緒に通学路を歩いてみましょう」

特に4月から小学校に進学するお子さんがいる保護者のかたは、通学路を実際にお子さんと一緒に歩いて、危険な箇所、注意しなければならぬ点を教えてあげてください。また、お子さんが出かける前にしっかりと、急がせたりすると、動揺して事故の原因になることもあります。時間にゆとりを持ち、笑顔で送り出しましょう。

松田警察署 ☎82-0110